令和 8 年度(2026 年度)第 7 回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議　議事録

日　時：令和 8 年(2026 年)10 月 13 日（火）　午前 10 時～午前 11 時 05 分
場　所：本部棟 2 階大会議室及びオンライン
出席者：〇委員

学長	堤　裕昭	
副学長	山田　俊	
事務局長	加藤　栄一	
文学部長	米谷　隆史	
環境共生学部長	白土　英樹	
総合管理学部長	宮園　博光	
共通教育センター長	西本　陽一	
地域・研究連携センター長	石橋　康弘	（リモート参加）
デジタルイノベーション推進センター長	森山　賀文	（リモート参加）
元（株）エフエム熊本代表取締役社長	荒木　正博	

〇関係者

文学研究科長	米谷　隆史
アドミニストレーション研究科長	澤田　道夫

〇監事

公認会計士・税理士	吉川　榮一
弁護士	塚本　晃大

〇事務局

久保田事務局次長、桑原総務課長、木山新学部設置準備室長、堀口教務入試課長、嶋川教務入試課入試班長、藤本教務入試課教務班参事、森木教務入試課教務班主事

〇欠席委員

国際教育交流センター長	モロー ジェフリー スチュワート
熊本大学理事	宮尾　千加子
熊本県公立高等学校校長会長	前田　浩志

１　開会

２　学長挨拶

３　議事

（１） 審議事項

① 令和 9 年度（2027 年度）春季入学入学者選抜（大学院文学研究科・秋季募集）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料 1-1 に基づき、試験日、志願者数、受験者数について説明があり、続いて文学研究科長から資料 1-2 に基づき試験結果の説明があった。

・博士後期課程日本語日本文学専攻で、一般選抜に 1 名が志願した。また、博士前期課程の日本語日本文学専攻及び英語英米文学専攻では志願者はいなかった。
・博士後期課程日本語日本文学専攻では、9 月 29 日（火）開催の文学研究科委員会において、合否判定がなされた。

・博士後期課程日本語日本文学専攻の試験の配点は、専門科目 100 点、口頭試問 100 点と修士論文 100 点の計 300 点。
・受験者は総得点 6 割の合格基準を満たしておらず、不合格と判定した。
・以上の判定について、ご審議をお願いしたい。
・ご承認いただけたら、本日 13 時 30 分から、合格発表を行う予定。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

② 令和 9 年度（2027 年度）春季入学入学者選抜（大学院アドミニストレーション研究科・秋季募集）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料 2-1 に基づき、試験日、志願者数、受験者数について説明があり、続いてアドミニストレーション研究科長から資料 2-2 及び資料 2-3 に基づき補足説明があった。

・博士前期課程では、社会人特別選抜に 2 名が志願し、2 名とも当日受験した。
・また、博士後期課程では、社会人特別選抜に 1 名が志願し、当日受験した。
・10 月 1 日（木）開催のアドミニストレーション研究科委員会において、合否判定がなされた。
・博士前期課程の選抜試験は小論文 200 点、面接 300 点、計 500 点。受験者は 2 名とも総得点 6 割以上の合格基準を満たしており、また、全ての科目で 3 割を超えており、合格と判定した。
・博士後期課程の選抜試験は英語 100 点、口頭試問 200 点、計 300 点。受験者は総得点 6 割以上の合格基準を満たしており、また、全ての科目で 4 割を超えており、合格と判定した。
・以上、博士前期課程 2 名及び博士後期課程 1 名の判定について、ご審議お願いしたい。
・ご承認いただけたら、本日 13 時 30 分から、合格発表を行う予定。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

③ 半導体学部に係る令和 8 年度（2026 年度）の特任教授の任用について

事務局新学部設置準備室から、以下のとおり説明があった。

・まず 1 人目、令和 9 年 4 月の半導体学部の開設に向け、資料に記載のとおり、半導体関連人材育成に係る教育研究体制の整備に従事していただくため、特任教授として任用するもの。
・現在の勤務の都合により令和 9 年 1 月 1 日からの任用となる。ご審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

・次に 2 人目、資料に記載の通り、半導体関連人材育成に係る教育研究体制の整備に従事していただくため、特任教授として任用するもの。
・1 人目の候補者同様、令和 9 年 1 月 1 日からの任用となる。ご審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

④ 半導体学部における科目等履修生及び研究生並びに特別聴講学生の受入れ方針について

事務局教務入試課から、以下のとおり説明があった。

・令和 9 年度に新設する半導体学部における非正規生（科目等履修生、研究生並びに特別聴講学生）については、半導体学部の教育研究活動を優先するため、完成年度の令和 12 年度までは受入れを行わない方針としたい。ご審議をお願いする。
・ご承認いただけたら、学内で報告するとともに、ＨＰ等で周知予定。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑤ 教員の採用について

事務局総務課から、以下のとおり説明があった。

・今回審議対象となった 3 件について、全学審査委員会等の審査が終了している。
・それぞれの採用案件について、まず、資料 5-1、5-2 について共通教育センター長及び総務課から選考の基準、経過、最終候補者の経歴、教育研究業績、および面接結果等の詳細な説明を行うので、そのことを踏まえ審議をお願いしたい。

1）中国語・中国文化（中国思想、または中国文学）

共通教育センター長から、資料 5-1 により、次のとおり説明があった。

・今回 51 件の応募があり、書類審査の結果、2 名を面接審査対象とした。その後、役員面接等を経て、1 名を第 1 候補者に選定した。また、もう 1 名の A 氏についても、第 1 候補者が辞退の場合第 2 候補とすることと決定した。
・これまでの研究業績等を勘案し第 1 候補者を准教授として、また、辞退の場合 A 氏を、講師として採用することを内申したい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

2）健康科学・スポーツ科学、運動生理学

共通教育センター長から、次のとおり説明があった。

・今回、33 件の応募があったが、書類審査の結果、4 名を面接審査の対象とした。審査の結果、そのうち 2 名が採用条件を十分満たしていることが確認された。
・職位に関しては、講師として内申したい。また、次点の A 氏についても、第一候補者が辞退された場合には、推薦順位 2 位で教授として内申したい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

3）半導体学部基幹教員

総務課長から、次のとおり説明があった。

・令和 9 年 4 月に採用予定の半導体学部の教員について審議いただくもの。職位の内訳は教授 8 名、准教授 5 名、講師 2 名、助教 1 名となっている。
・全ての教員に関して新学部設置準備委員会及び全学資格審査委員会において承認を得ている。職位や経歴等の一覧は、別紙のとおり。

・加えて、このうち一部の教員に関しては既に総合管理学部に今年度採用済であるため、令和 9 年 4 月 1 日に学部間異動の承認を併せていただきたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑥ 公立大学法人熊本県立大学定款の変更について

事務局総務課から、以下のとおり説明があった。

・令和 9 年 4 月 1 日の半導体学部設置に伴い、本学の学部体制が 3 学部から 4 学部に移行することから、半導体学部長を教育研究会議の委員に追加するが、定款に定める教育研究会議の委員の上限を「13 人以内」から「14 人以内」へと改める必要があるため、審議をお願いしたい。ご承認ののちに、熊本県議会の議決等を経て、令和 9 年 4 月 1 日の施行となる。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

（２） 報告事項

① 令和 8 年度非常勤講師の採用（追加分）について

事務局教務入試課から以下のとおり報告があった。

・今回非常勤講師 1 名の追加と、2 科目追加となった。後学期が始まっており、9 月中に採用を行っているため、今回は報告事項としてお示ししている。
・具体的な科目名等については、資料 7-2 でご確認いただきたい。

４ その他

次回日程

令和 8 年度(2026 年度)第 8 回 11 月 2 日（月）午前 10 時～ 本部棟大会議室

５ 閉会